

改めて図書館の役割を考え直す

鶴見大学学術情報事務室・IR 推進事務室 長谷川豊祐
<http://members3.jcom.home.ne.jp/toyohiroh/index.htm>
<https://www.facebook.com/toyohiro.hasegawa>

図書館とは：「時代や社会の変化」に影響されない「図書館の普遍的な役割と機能」がある。

1. 図書館の普遍的な役割：**蔵書的重要性!** 『図書館情報学』(勁草書房 2013.2) p.239-240.

- 図書館の役割：資料の収集，蔵書の蓄積・保存，不特定多数への利用に提供
 - 図書館の構成：蔵書(最も重要、図書館の特徴)、図書館員、建物
 - 図書館の組織：管理部門(資料の選択・組織化，蔵書構築)、利用者サービス部門
 - 図書館の運営主体による区分：国立図書館，公立図書館(区市町村立)，学校図書館，大学図書館，専門図書館、児童図書館
 - 図書館の本質：充実した蔵書を作り上げ，利用者の様々な要求に応えること
 - 図書館は，独特の組織形態や業務内容に示される自律的な側面を維持してきた。どのような組織の中にあろうと，図書館はコレクションの構築や資料の組織化，その提供という固有の業務を行うという点で変わりがなく，周囲の変化を超越した側面があった。しかし，時代に応じて位置づけが変わることもある。宗教との関わり，施政者のプロパガンダ，1940年代の米国の「公立図書館は民主主義の砦 (the fortress of democracy)」，元ハーバード大学図書館長チャールズ・エリオット(Charles Eliot)の大学図書館は「大学の心臓 (the heart of the University)」。日本では，1990年代に，政府の政策の一環で，公立図書館は生涯学習の中で，大学図書館は学術情報システムの中で主要な役割を果たすことが期待されたことがある。
- 図書館の発展：本や雑誌などの出版物の発展と、文化的な役割の重なり
- 蔵書の変化：デジタル資料の急速な増加
- 図書館の変化：利用者が種々の形式をとる情報源から図書館員の手助けを受け，情報を入手する場所へ

2. 時代や社会の変化への対応 → 転換点(90年代)：バブル崩壊,電算化,インターネット

自分の図書館員像：利用者の目線 (妙典小学校での驚きの体験 1999)
 ICT 活用 (サイト構築での効果と失望 1996),
 想像力 (図書館でレモンを切る学生の容認 2003)

自分のできることを ← 高齢者歯科飯田先生：摂食嚥下, 胃瘻でなく自分の歯で食べる
 → 考え方を換え, 対象領域と出来ることを増やす

参考：「[大学図書館の活力の源 ～本のチカラ、人のチカラ、データのチカラ～](#)」

私立大学キャンパスシステム研究会 2015 年度第 1 回第四分科

→ [リエゾンライブラリアン\(連絡調整図書館員\)](#) → 他部署を繋ぐ(補助金, ネットワーク)

- 資料の変化 → DB,フルテキスト
 - 利用対象・要求の変化 → 資料,情報入手 & 貸出減少,入館者数の減少 → 危機感(図 1-2)
 - 設置母体の経営状態の悪化 → 資料費,運営費,人件費 → 別の危機(人員,運営)
 - 管理・運営の変化 → 電算化,図書館以外の業態参入
 - 新サービスの出現 → 地域創生,ネットワーク,「昔の本にさわってみよう！」in 戸部小学校
- 密かに進行していた危機
- 図書館,読書,本,学修の相対的な力の低下 &
 - 大卒の転換(F 社の現場改革 FI 活動等から見た「[成果は何か](#)」)～貸出データ分析
 - 過渡期を経験しない転換後の世代

[貸出履歴の書架管理業務への活用](#) 日本図書館情報学会 20141129

→ 10 年間の貸出履歴 38 万件を分析 → 書架管理業務の効率化 → 次年度は入館データ活用も

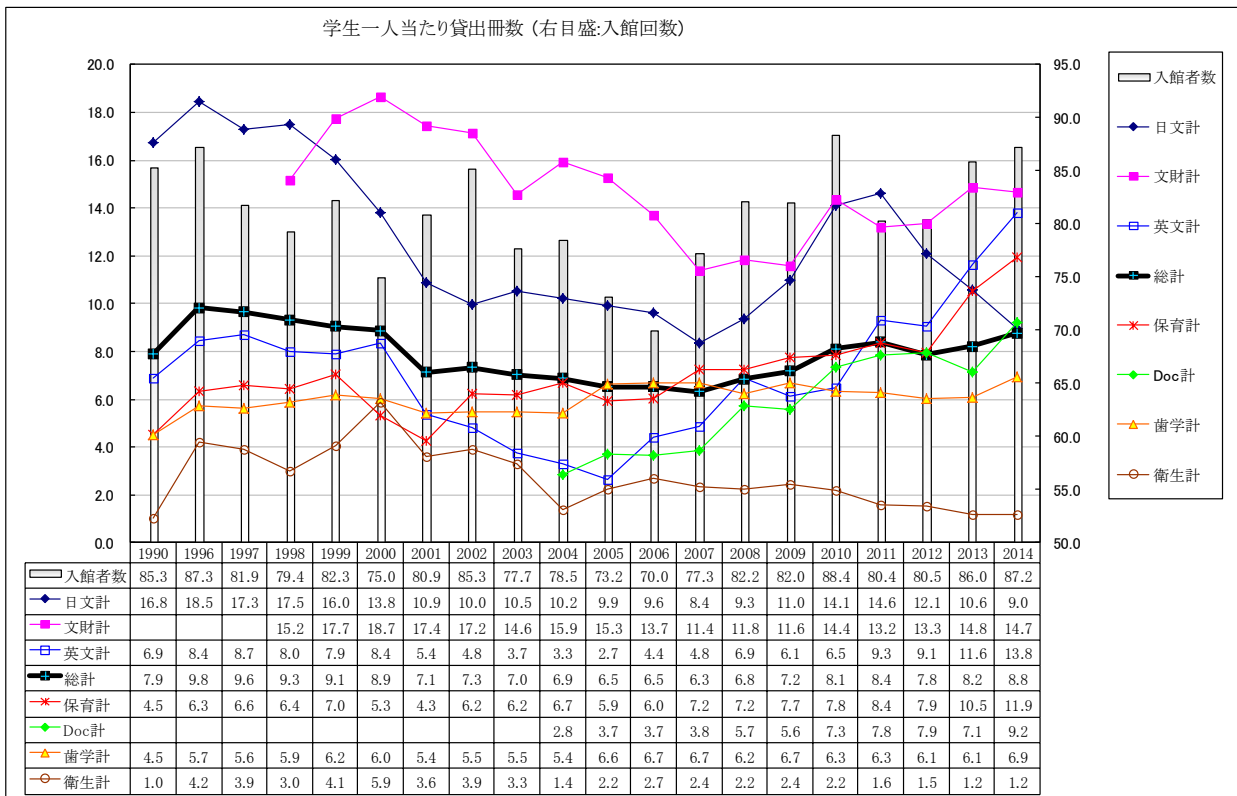
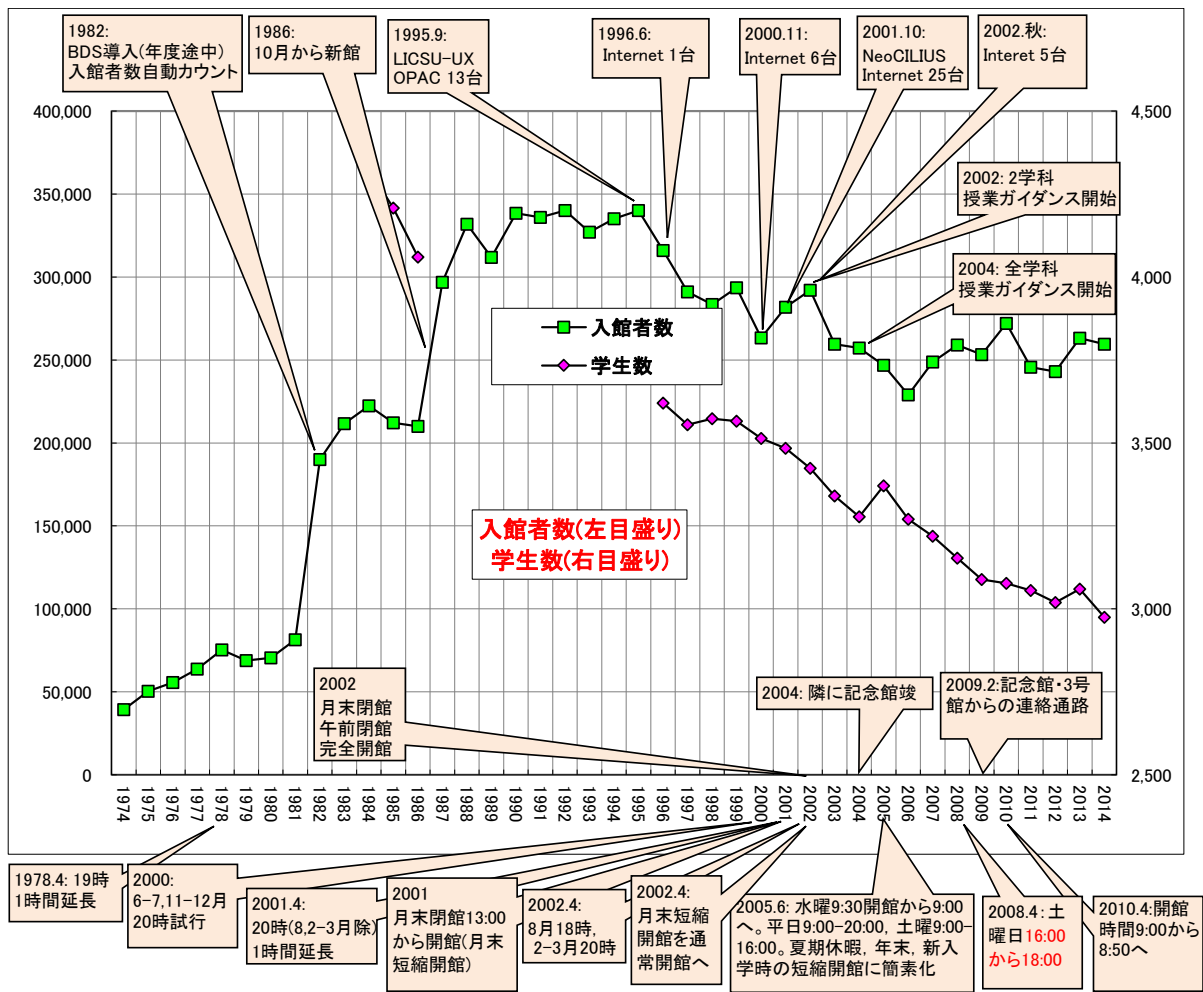


図 1：学科ごとの一人当たりの貸出冊数の推移



入館者数と学生数・施設・設備などの関係

1980年代から学生数が2割減少、入館者は90年代半ばから減少傾向
 1986年10月から新館(別館統合・移転で開館日数1割減)、入館者数は5割以上増加。
 2000年は、インターネット用PCの台数が増え、開館時間も延長され入館者数も上昇。
 2003年は、新規投入サービスがなく、入館者数は減少。入館者数に関してはガイダンスの効果はない。
2007年から入館者数増加。貸出冊数も回復傾向になっている。2005年の開館時間延長などの効果か。

図2：入館者数の推移とサービス・運用の変更

入館者数増加の要因：新館建設，時間延長，「学習アドバイザー」(紆余曲折の末 2004～)

貸出冊数：英文科のソフト面の連携成果「英語多読」→英語力向上の教員証言→一般書は？

保育科も紙芝居開架(2013年～，一カ月貸出)，学部生4冊から6冊による効果

3. 成果の推移の事例

プッシュ型～授業連携～教員連携：企画,連絡,調整,コミュニケーション&各館個性

1) 授業時間内新入生ガイダンス(2002年～2学科で試行)：必要性の説得,授業時間をいただく
 新入生への図書館活用ガイダンスについて～～全学科への授業時間内での実施～～
 平成16年度 大学図書館司書主務者研修会

http://members3.jcom.home.ne.jp/toyohiroh/hasegawa/20040826_full.pdf

2) 教養演習(2004年～全学科で実施)

3) 学生選書ツアー(2008年～)

<http://library.tsurumi-u.ac.jp/library/sensho/senshotop/senshotop.html>

4) ブログ開設(2009年～)

<http://blog.tsurumi-u.ac.jp/library/2009/06/?p=2>

5) 英語多読(2011年～) : コーナー設置, 複本購入 10冊, レベル分けシール, **貸出増, 英語力向上**



英語多読(2011)



英語多読の冊数の増加(2014)

<http://blog.tsurumi-u.ac.jp/library/2011/07/post.html>

6) 学修支援スペース(2011年8月～)

<http://blog.tsurumi-u.ac.jp/library/2011/10/post-9844.html>

<http://blog.tsurumi-u.ac.jp/library/2011/11/2011910-03f2.html>

7) 図書館カウンターの移転(2012年4月～)

<http://blog.tsurumi-u.ac.jp/library/2012/04/post-5de2.html>

8) ブックピックオーケストラ(2015年11月～) : **新たな展開へ**

http://www.bookpickorchestra.com/works/sewing_books.php

Sewing books : 本の糸口をつなげることで見えてくる、本と出会う新しい筋道

http://www.bookpickorchestra.com/works/sewing_books.php



英語多読の図書例



ブックピックオーケストラの一場面

- 授業連携の催しが授業や図書館サービスの活性化へ
- 神奈川県内の大学図書館における地域連携 → ハブとしての図書館
- 情報の探し方 + 情報の評価を追加 + 発信の技術 → 「図書館・情報学」

4. 質疑